

進捗報告書（実行団体）

事業名:	Cash for Work みやぎ II
資金分配団体:	一般財団法人リープ共創基金
実行団体名:	特定非営利活動法人Switch
実施時期:	2020年10月～2022年1月
事業対象地域:	宮城県
事業対象者:	新型コロナウイルスにより収入が減少、あるいは職や住居を失った45歳未満の若者。

Version 1.2

日付: 2021年8月24日

I. 事業概要

事業概要
<p>・ 農業については、作業することそのものが本人たちの意欲ややりがいを直接的に感じる事が出来るため、積極的展開する。訓練の仕立ては大きく3方向で考えており、農作業の実施、地域づくり、販路拡大の3方向で想定している。実習場所は石巻市の能担い手育成機関、イシノマキファームにて農業指導を実施し、IT関連の作業は仙台を想定している。</p> <p>・ IT関連については、打診済の仙台市内の2つの企業（Web制作、DTP関連企業と、プライダル関連企業）と連携し以下の2つの方向性での職業体験の場を創出するの検索を行い、個々で業務の受注が可能なレベルを目指す。</p>

II. 進捗報告の概要

総括
<p>事業全体としてはほぼ計画通り進んでいる。農業チームとITチームに分け、それぞれ異なる目標に向かって事業を進めることが出来ている。一方で、農業分野とIT分野の連携はまだ実現する事が出来ておらず、今後後半に向けての課題を残している。受益者数は13名とほぼ計画通りだが、実際の稼働日数のばらつきなどもあり、今後再度募集を強化する必要があるため、プレスリリースや関係機関への告知を進め、利用の促進を図ることとする。</p>

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>・ 18名の若者に対し、80%以上の労働市場への参加と、経済的な自立を目指す。労働市場への参加の定義とは、正規雇用、非正規雇用、フリーランス、起業、就農、などを含む。</p> <p>・ 18名の若者が自己有用感の改善と幸福感を獲得することを目標とする。</p>	<p>現時点での累計参加者はIT分野9名、農業分野4名の13名となる。</p> <p>卒業生は2名となり、1名は農業関連企業への就労を再検討し、現在は継続して進路相談を進めている。1名は体調不良から入院し、その後生活保護を受給。現在も就職活動を継続しているため、コースサポートカレッジ仙台NOTEにて、就労サポートを継続している。</p>

活動	進捗状況	概要
CFW:IT分野	ほぼ計画通り	<p>■IT分野：9名 仙台地区、石巻地区両方にて、事業を実施することが出来ている。将来の方向性によって4つのグループに分かれてきているため、グループごとの活動概要は以下の通りとなる。</p> <p>【IT（映像：就職）グループ仙台】1名 1名が映像関係の起業にて、職場実習をしながら将来的な就職、あるいは起業を目指している。現場の実習を進めながら、起業チームとの連携も視野に入れる。</p> <p>【IT（映像：起業）グループ】仙台2名 2名は映像関連の起業を目指して活動を開始している。</p> <p>【IT開発グループ】仙台1名 将来プログラミングや開発系の職業を目指す対象者に対して、現在基本的なOfficeの操作かた、データベース、Python、など、初歩的な言語の習得を目指した講座を展開している。今後の実習先の開拓が課題となる。</p> <p>【ITデザイングループ】仙台3名 石巻2名 現在基本的なITスキルの習得に加え、デザイン系のアプリケーションAdobeCreativecloudなどのトレーニングに取り組んでいる。今後はWEBやDTP関連業界の実習先を開拓する。</p>
CFW:農業分野	ほぼ計画通り	<p>■農業分野 4名 仙台、石巻にて現場実習を中心に実施することが出来ている。</p> <p>【仙台地区】2名 仙台駅から車で20分程度の、比較的都市部での小規模農業法人にて実習を行っている。 小規模な農業法人で実習することで、実践的な営農～出荷の流れについて、幅広く吸収することが出来ている。 一方で大型の農業生産法人で求められるスピードや、生産量の確保のための作業量の経験を積むことは、今後の課題として残る。8月現在1名卒業。1名稼働中。</p> <p>【石巻地区】2名 住み込み1名：2か月間の実習を実施。ホップの生産に関わる苗の管理、圃場整備や、冬場のセリの収穫、出荷作業、春の本格的な生産に向けての土づくりなど、幅広い作業を経験することが出来た。</p> <p>通勤：1名：通勤にて実習を展開。本人が目指す少量多品種の農業の実践を目指し、なるべく多様な生産方法を習得できるよう実習を組み立てている。</p>

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>事業終了後は、起業やフリーランスも含め、「働き方」の改革も促すことが目的となるが、現時点での卒業生が2名のみと言う事もあり、実現することはできていない。今後9月以降に卒業者が増加するため、「就職だけではなく労働市場への参加」を目指したフォローを進める。</p> <p>事業終了後には、地域の企業との連携体制の構築による、若者就労に地域支援ネットワークの構築の実現も考えており、この機会にできた地域企業とのネットワークを維持、拡大していきたい。</p>

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥4,822,600	¥7,736,996	¥12,559,596	¥5,491,028	44%
	管理的経費	¥956,208	¥1,349,840	¥2,306,048	¥1,390,634	60%
合計		¥5,778,808	¥9,086,836	¥14,865,644	¥6,881,662	46%
補足説明		当初予算で立てていた2020年度の1995000円（自主財源）を、事務局との打ち合わせにより削除しています。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

事業内で1名、症状が悪化して退職した受益者がいた。
住み込みでの就労体験をしていたため、入院までのつなぎでスタッフが動いた場面があった。同時に医療機関や行政窓口、保護課など社会資源との接続も進めることが出来、今後のリスク体制を再検討する機会となった。

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	プレスリリース発信(東北地区23社) 河北新報,朝日新聞,毎日新聞読売新聞,日本経済新聞,産経新聞,東奥日報,デイリー東北,岩手日報,岩手日日新聞,秋田魁新報,山形新聞,福島民報新聞,福島民友新聞,日刊工業新聞,時事通信,共同通信,NHK,東北放送,仙台放送,宮城テレビ,東日本放送,F M仙台
広報制作物等	有	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者募集チラシ ・企業実習先募集チラシ
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	総会年1回、理事会隔月で実施しています
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	整備し、HP上に提示しています。